

全校朝会 校長先生のお話

「有終の美を飾る」 「終わり良ければすべてよし」

おはようございます。

第1学期始業式の時の話を覚えていますか?先生は全校朝会の時など自分が話したことをホームページで残すようにしていますが、「心豊かで たくましく 未来に向かって 自ら学び行動する児童の育成」という学校教育目標の話と新庄北小学校の子どもたちの課題を話したと思います。

新庄北小学校の子どもたちの課題は、

1. 失敗したときやできなかったとき、諦めてしまう子どもがいる。
2. 体力がない子どもがいる。
3. 深く考えることが苦手な子どもがいる。
4. 大人が見ていないところで力が発揮できていない子どもがいる。
5. 他の人に任せてしまう子どもがいる。

この1年でこれらの課題は解決できたでしょうか?

今日は学年最後の月である3月の始まりということで、二つの言葉についてのお話をします。

一つは、「有終の美を飾る」という言葉です。有終の美を飾るとは、「最後までやり通して立派な成果をあげる」という意味です。今年度一年間、学習面や生活面で一生懸命頑張ってきたみなさんは、今日から始まる最後の月、3月もぜひ引き続き頑張っていて、有終の美を飾ってほしいです。

しかし、中には今まであんまり頑張っていないな、ちゃんとできなかったなという人もいないでしょうか。そのような人のための言葉もありますよ。それは、「終わり良ければすべてよし」という言葉です。これは、「物事は途中の失敗は大きな問題ではない、締めくくりが大切である」という意味です。今の学年になってから、勉強をちょっとさぼってしまったな、だらしない生活をしてしまったなという人、大丈夫です。まだ間に合います。締めくくりが大切です。

来年度4月新しい学年で良いスタートができるように、この3月で準備をしっかりとしましょう。

